

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	10-10		
PDCA	主要事業名	災害対策資機材等更新事業	部課名	総務部防災安全課	担当	内線	関	287		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 12,527 千円 会計 一般会計 歳出科目： 08.01.05.02.63							目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用		
	事業概要等	事業概要： 大規模災害発生時に必要となる備蓄食糧、飲料水等の備蓄用品の更新を図る。 また、避難所生活が長期化した際に課題となる、口腔ケアや感染症のまん延等に対し、液体ハミガキや消毒液などの備蓄用品の更新も図る。								
		事業目的： 大規模災害への備えとして、食糧等の更新を行い、一定の備蓄量を確保する。また、長期の避難所生活で課題となる感染症対策等に必要となる用品を備蓄する。								
		事業内容： 大規模災害時に必要となる備蓄食糧、飲料水、液体ハミガキ、消毒液等の備蓄用品を更新する。								
		問題点・課題： 保存場所を確保するとともに、期限のある物品の入れ替え作業の効率化を図る必要が 題等： ある。								
	予算額 12,527 千円 財源内訳 市費 9,657 千円 国費 0 千円 県費 0 千円 その他 2,870 千円	主要事業とする理由								
		被災直後から、避難生活をする上で絶対に必要となる資材について、適切に数量管理、保管管理し、更新していく必要があるため。								
		得られる成果								
		大規模災害時の避難者受入れ体制を維持し、早期の生活再建へつなげる。								
		目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位			
		飲料水備蓄率	実績値	72.2	83.3	—	%			
			目標値	72.2	83.3	94.4	%			
			実績値							
			目標値							
			実績値							
目標値										
D 実績値 得られた成果と	決算額 10,455 千円	得られた成果							評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用	
		アルファ化米、保存パン、備蓄飲料水、液体ミルク、手指衛生剤、液体歯磨きの更新を行い、大規模災害時の避難者受け入れ態勢の維持、早期の生活再建へつなげた。								
	成果指標				令和4年度	単位				
	飲料水備蓄率	実績値	94.4		%					
		目標値	94.4		%					
	C 課題の整理	事業の評価・課題	B 期限管理が必要な資材について計画的に更新を進めた。地域の訓練等を通じて、更新する備蓄品について品評いただき、ビスケットをパンに改め、パスタを米に改めた。消費期限や保管性能を担保した上で、より食べやすく、扱いやすいものへと更新していく。							
	A 課題後の方向性	今後の事業の方向性	現状維持 計画的な整備更新、品目精査を継続していく。備蓄から年限が経過しており、消費期限のない資材も含めて、備蓄内容について精査、再整備していく必要がある。保管場所や環境も考慮して、避難者にとって真に必要なものに厳選し、併せて資材一つ一つの実効性確認をしていく。							
		観点別評価	必要性		有効性		効率性			
			①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余	余	余	ない		
			②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余	余	余	ない		
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない								